

きよすじょうかまち
清洲城下町遺跡(本発掘調査B)

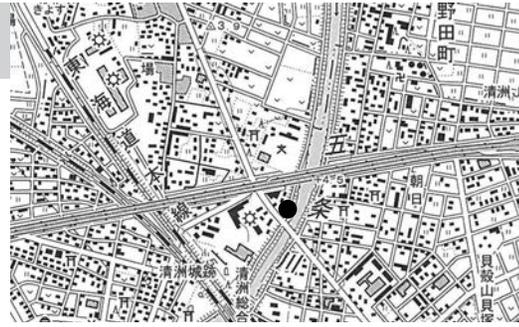
所在地 清須市一場矢倉地内
(北緯35度13分09秒 東経136度50分37秒)

調査理由 橋梁整備工事

調査期間 令和2年2月～3月

調査面積 205㎡

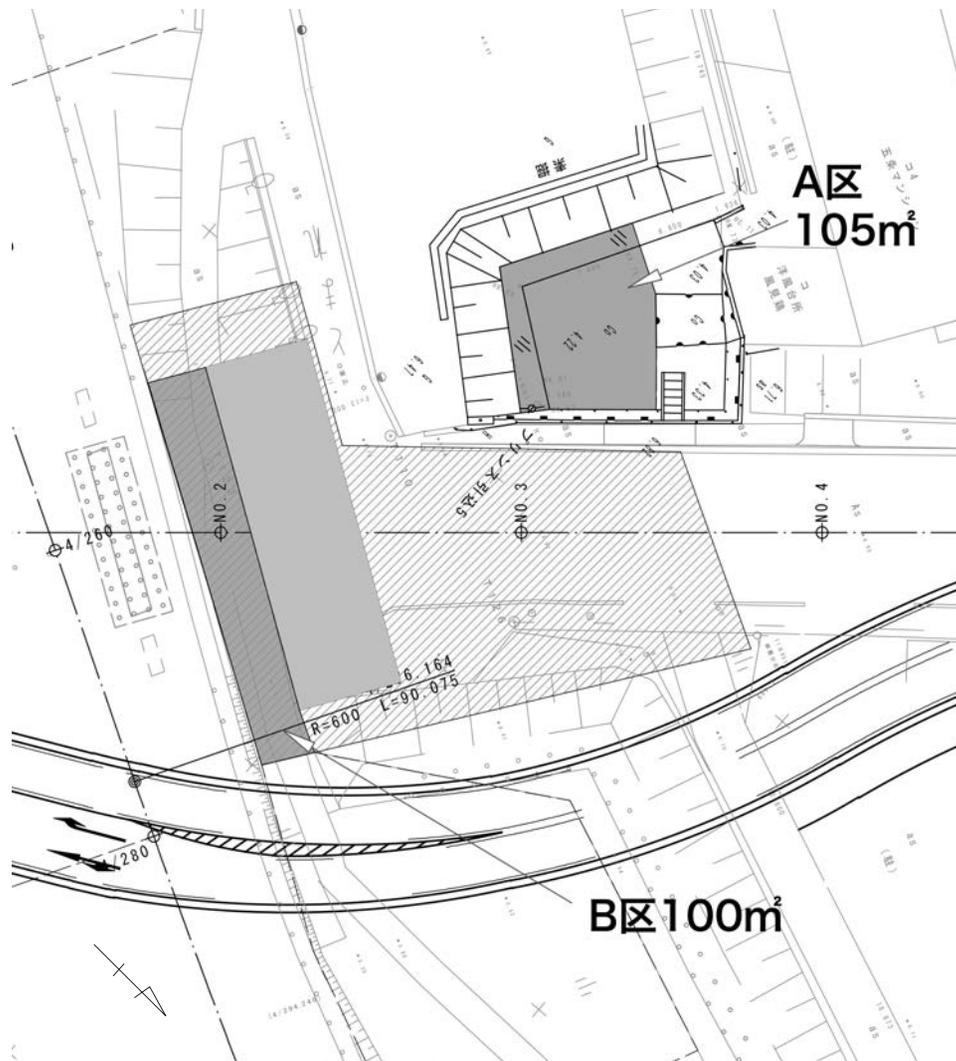
担当者 樋上昇



調査地点(1/2.5万「清洲」)

調査の経過 発掘調査は、県道190号線の清洲橋掛け替え工事に伴う事前調査として、愛知県建設部道路整備課より愛知県教育委員会を通じた委託事業としておこなった。

調査の概要 清洲城下町遺跡は五条川を城の縄張りに取り入れた近世城郭である。今回の調査は清洲橋の橋梁掛け替えにともない、清洲橋北詰の西側窪地(19A区)と、五条川右岸の清洲橋橋梁直下(19B区)の2か所について発掘調査をおこなうこととなった。調査面積は19A区—105㎡、19B区—100㎡の合計205㎡である。(樋上 昇)



調査区位置図(S=1/500)